

できていますか？災害への備え

50年に一度の豪雨が8月24日、北海道礼文島を襲い土砂崩れにより尊い命が失われました。

置戸町にも50年に一度の日がいつやってくるかわかりません。

置戸町だけは大丈夫、自分だけは大丈夫と思わずに、町民の皆さんと行政がいっしょになって災害に備えることが大切です。

置戸町で想定される災害

■風水害（洪水）

常呂川本流は、ダムのおかげで溢れる危険性は少なくなりましたが、局地的な大雨によって河川以外の市街地でも洪水が起こる危険があります。

■土砂災害（土石流・崖崩れ）

置戸町は山が近く「土石流」や「崖崩れ」の起きやすい地形になっています。これまで大きな土砂災害はありませんでしたが、土砂災害の多くで発生する前兆現象※を感じたら早めに避難しましょう。

※前兆現象～小石が落ちてくる、地鳴りがする、わき水が止まる（増える）、川や井戸水が濁る、川の水位が下がる、崖に亀裂がはしる

土砂災害警戒区域とは

急な傾斜や谷などの地形のうち、北海道が人家や学校などの近くを優先的に調査し、土砂災害の危険性及びと判断した地域を「土砂災害警戒区域」と指定します。置戸町内では西町（旧日進地区）の急な傾斜地が指定されています。

■地震

置戸町は近くに地震の原因となる「活断層」が見つかっていないため、大きく揺れる可能性は全国的に見ても少ない地域です。しかし、置戸町の直下で大きな地震が起こる可能性は少なからずあることから、やはり命を守るための備えは必要です。

災害からいのちを守る～避難～

■避難情報は3段階

町から発令する避難情報は次の3種類です。

種 類	状 況	求める行動
①避難準備情報	災害発生の危険性あり	避難の準備を始めてください
②避難勧告	災害発生の危険性が高まっている	避難を始めてください
③避難指示	災害発生の危険性が非常に高まっている 災害が発生している	ただちに避難してください